

宮城県仙台第三高等学校の事業一覧

項目	時期	協力・連携先等	内容	2022終了状況	2023予定	最終的な展望
探究的な学び、PBL型授業への転換	通年	校内研修	「自立・自律した学校づくり」を目指す仕掛け	校内研修実施。全12回を実施。	学校活性化を目的とした研修を企画・実施	授業改善や学校運営にかかる情報を共有
	通年	民間企業・研究所	領域横断したSSH学校設定科目の実施	PBL型授業の開発	探究的な学びの授業実践	他校へのPBL型授業のモデルの公開・共有
	通年	宮城県仙台地方振興事務所 林業振興部	SSH学校設定科目を中心にした授業コンテンツ開発	学校林の開発(二次林の混交林化を目指す)と授業への活用準備	6月 高校生フィールドワーク 10月 小中学生向けグリーンアドベンチャー実施予定	生徒が周辺小中学校を巻き込んだ林業学習に活用
	通年	連携校との研修	オープン・クエッション、オープン・エンドの授業	授業公開に向けての研究	授業プログラムの開発と普及	教科横断的な授業モデル作成・普及
評価方法の研究	通年	協力大学	課題研究・探究での形成的アセスメントによる測定	研究開発課題に即した測定項目の予備調査実施、11月本調査予定。	調査項目の修正及びIRTによる測定結果の分析の実施	IRTを用いた測定項目の作成及び実施、普及も視野
	通年	協力大学	プログラム評価	複数校を対象とした調査を実施。本校教員対象の調査を実施予定。	継続実施の予定	SSHによる教員研修の効果分析、結果の活用
	通年	協力大学	1枚ポートフォリオの活用	GASを用いたポートフォリオ開発とテキストマイニングによる分析		R3に完了
第三期SSHの基盤づくり	通年	協力大学、高校教育課	発見発明型人材育成プログラムの開発	理数科1年生で教科融合科目(6科目)の開発と実践	理数科1・2年生で教科融合科目(11科目)の開発と実践	持続可能な社会を共創する科学技術人材の育成
	通年	協力大学、高校教育課	技術活用型人材育成プログラムの開発	普通科1年生で教科融合科目(3科目)の開発と実践	普通科1・2年生で教科融合科目(7科目)の開発と実践	持続可能な社会を共創する科学技術人材の育成
	通年	協力大学、高校教育課	普通科における探究活動、課題研究	大堤沼周辺の現地観察実施※周辺環境と歴史的背景の理解	学年間で引継ぎながら、探究班で継続実施中。	地域活性化を実現する探究活動
	通年	協力大学、高校教育課	「尚志ヶ丘フィールド」の計画的整備	5分野の新規事業を企画・実施 ※ポンチ絵参照	企画と実施を継続中。	科学的な探究活動での地域の活用
	通年	関連企業、日本船舶工学会	普通科生徒の発表の場の拡大	10月より参加校募集	1月 実施予定	海洋教育の推進と学校間の連携を促進させる
	通年	県内外の小中学校、高等学校	SSH交流会 まなびあい教員研究会	8/10にSSHにおける課題研究や探究活動の成果を普及するための教員向け研究会の実施	2023年8/10予定。探究活動で起こるテーマと内容のズレ指導事例の共有。	継続実施
ICT学習を通じた「情報活用能力」の育成	通年	協力大学、関連企業	ChromeBook等を活用した学習方法の研究	R3年度実施の共同研究について報告書の終了		全教科の効果的なICT活用授業の開発と普及
	通年	校内研修	共通テスト「情報I」に対応する学習の研修	各種研修会に参加し情報収集を実施	継続実施	実施している学校設定科目と融合
	通年	協力大学	データサイエンス、ビッグデータの教材化	単元「モデル化とシミュレーション」の授業開発	単元「データの活用」の授業開発	ビッグデータを活用した授業実践
	通年	連携校	データサイエンス、ビッグデータの教材化	数学I「データの分析」を基とした課題解決型学習教材の開発	日本史探究、STEAMライフサイエンスを基にした課題解決型学習教材の開発	数学B「統計的な推測」を基とした課題解決型学習教材の開発
	通年	校内研修	授業・行事・部活動などあらゆる教育活動道の効果的なDX研修	任意参加の短時間の研修会を頻回開催	使用前に講習会実施。 4月7日デジらく採点活用講習	教員全員のICT活用力向上
	通年	数学科の取組	反転授業、Web教材を活用した生徒の自主的学習の質と量の充実	google workspace を用いた個別最適な学び、協働的な学びの授業実践並びに研究	google workspace を用いた個別最適な学び、協働的な学びの授業実践並びに研究	創造力を育てる三高型数学学習スタイルの確立
	通年	関連企業、研究所	電子会議システムを活用したインタラクティブ型研究指導	部活動における関連大学研究所とのWebミーティングの実施、OBチューターによる研究指導	部活動・探究における関連大学・企業研究所とのWebミーティングの実施、OBチューターによる研究指導	R5は課題研究や探究においても拡大実施
	通年	連携校	電子会議システムを活用したインタラクティブ型授業開発	2年7/11、10/7、1年9/12、10/3、11/7合同リモート授業を国語で実施。	今年は理科での実施を検討	国語を題材にした協働的な学びを通して、もの見方を広げる
国際理解教育を始めた他校との連携充実	後期	協力大学	英語による課題研究発表への指導・助言	Zoomによるセッション全9回が終了	令和5年も継続予定	英語による課題研究発表のスキル定着、即興で英語によりやりとりする運用力の醸成
	後期	海外大学	国際理解学習や課題研究の発表	英語による課題研究発表のZoomセッションが実施決定 マレーシアマラヤ大学の交流	継続実施	英語による課題研究発表のを通し、科学的な研究内容を理解・発信する力を養う。
	後期	台湾師範大学附属高級中学	(修学旅行による相互訪問)	5月にZoomによるセッション実施。現地交流から、オンライン等での交流へと切替、継続的な交流を交渉	10月 仙台三高に來校予定 12月 修学旅行で交流予定	英語による課題研究発表を通して、科学的な研究内容を相互に深め合う
	通年	国際交流機関	新たな連携校の模索	海外の高校とのオンライン交流 (ZoomやGoogleサイトにて) の実施 (7/19)	5月 韓国チョンリョル女子高校等との相互発表を実施	両校の探究活動や各教科授業におけるディスカッション・共同研究を目指す
	後期		海外研修	ISAによるエンパワーメントプログラムをアメリカボストン地域で実施計画。説明会実施、参加募集中。	継続実施	英語を通してやり抜く力を伸ばし、グローバル人材の育成を目指す
	後期	Global Studies Program	世界各国の留学生との交流プログラム	8月の実施を予定。参加者(1,2年生)を募集中	8/8～11日実施予定	英語を通してやり抜く力を伸ばし、グローバル人材の育成を目指す
通年	国際交流機関、連携校	模擬国連	校内にて模擬国連体験実施、連携校主催の模擬国連に参加	模擬国連大会参加 連携校主催の模擬国連に参加	外部大会参加や継続的な活動、模擬国連の開催	

項目	時期	協力・連携先等	内容	2022終了状況	2023予定	最終的な展望
地域等の教育力の活用	通年	宮城県仙台地方振興事務所 林業振興部、協力大学	「 <u>時習の森(学校林)</u> 」 「大堤沼公園」の開発、地域の活性化と教材化	学校林は混交林化を目指した開発の実施、公園については自然を残し防災に強い公園開発を目指す	6月 高校生フィールドワーク 10月 小中学生向けグリーンアドベンチャー予定 7月 フィールドワーク実施 12月 山形大学への訪問	学校林は地域小中学校への利活用、公園については市役所への提言等
	通年	地域自治会、NPO	「時習の森(学校林)」 「大堤沼公園」の開発、鶴ヶ谷団地活性化の教材化	地域自治会・協力大学とのワークショップ実施	現在、実現に向けた意見交換中	地域活性化を実現する探究活動
	通年	行政機関、協力大学、連携校	「 <u>南三陸フィールドワーク</u> 」 「白神山地フィールドワーク」 「栗駒フィールドワーク」	白神では13年間継続してコードラート調査を行っている。南三陸は震災で被害を受けた干潟調査等、栗駒は内陸地震の発災地にてGISを用いた地形判読等を実施。	7月15日(土) 実施予定 8月7日～9日 実施予定 10月 予定	白神と学校林のデータの比較と利活用。南三陸の干潟回復を定点観測。栗駒の地形分析。自然科学的視点を育成
	通年	研究所、関連企業	<u>つくば研修</u>	8月3日から5日の3日間実施、生徒40名参加予定	8月7日～9日 実施予定	つくば市で行なわれている最先端の研究に触れることで知見を広める
	通年	地域自治会、NPO	学校周辺フィールドワーク	地域自治会や大学とのワークショップを実施	地域自治会とのワークショップを継続	学校周辺を利用した探究活動の実践と外部での発表
	通年	関連企業	企業研究者による実習	10月に出前授業を開催、ライブサイエンスで実施	本年も継続	企業との共同研究
	通年	行政機関、児童福祉施設	<u>科学実験教室(小中への普及)</u>	7/3仙台市科学館150名参加実施、7/17「学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ」、8/6鶴ヶ谷市民センター、9月中旬燕沢児童館参加	4/15鶴ヶ谷まるっとフェスティバル高校生20名、100名以上来場 5/28 G7ポストイベント 7/2 SSH指定校合同発表会 7/16学都「仙台・宮城」サイエンスデイ	地域への成果普及での科学技術人材育成
	通年	教育機関、行政機関	<u>ドローンプログラミング教室</u>	<u>7/3仙台市科学館50名程度</u> <u>7/29宮教大附属小10名</u>	R6 1/13鶴ヶ谷市民センター予定	地域への成果普及での科学技術人材育成
県外高校等との協力	通年	連携校	ALの発展と探究型授業の開発	担当者間の情報共有	授業プログラムの開発と普及	授業プログラムの実践と検証
	通年	連携校	普通科課題研究、模擬国連、総合型選抜研究	生徒間交流(7/15-16)の実施、研究会(7/22)への参加	生徒間交流、研究会の相互参加	継続的な連携によって生徒の資質能力を育成
	後期	連携校	課題研究、修学旅行	<u>6/23に連携校(27名)来校し、生徒交流会を実施</u>	関西方面6高校への修学旅行を実施(12/13)	修学旅行の相互受入、継続的な連携を実施
	通年	連携校	課題研究、合科目開発、海洋教育	研究会(7/23)の参加、共同研究の実施	相互に研究会に参加、共同研究の実施	共同研究や継続的な連携によって資質能力を育成
	通年	連携校	探究型授業、Web合同授業、教員研修	2年7/11、10/7、1年9/12、10/3、11/7合同リモート授業予定	立命館宇治との国語、生物の合同授業	協働的な学びを通して、ものの見方を広げる/教員交流による授業力向上
	通年	連携校	データサイエンス教材の研究	7/18、8/20連携校主催全国統計探究発表会オンライン視察	実施日未定	統計探究における合同研究会、発表会の実施
	通年	協力大学	ユネスコスクール加盟校との交流	2022年ユネスコスクール加盟	ユネスコスクール加盟校との連携、発表会等の参加	国際的視野に立ったESDの推進
新たな教育課題への対応	通年	協力大学	ESD/SDGs学習と発表	SDGs講演実施(1学年)	7月に実施予定	探究活動の更なる発展 各種研究発表会への参加
	通年	先進校視察、関連企業	STEAMの実践例研究とその評価	領域横断をしたSS学校設定科目の開発実施とPBL型授業の開発	全国の先進校視察を実施し、校内で共有	他校へのSTEAM教育及びPBL型授業のモデルの公開・共有
	通年	先進校視察	STEAMの実践例研究教科横断		リーディングDXスクール事業	リーディングDXスクール事業
	通年	教育機関	高校生による出前授業		近隣の小学校・中学校に対して、高校生による出前授業	探究活動の実践 地域の人材育成
	通年	行政機関	英語のトレーニングサービスの活用	全学年、授業や自主学習で導入 事業終了		生徒の英語力向上
	通年	協力大学	ELSI (Ethical, Legal and Social Issues) 倫理的・法的・社会的課題	目標、指導計画、評価計画等の具体案策定	2年理数科(研究倫理)、普通科(社会倫理)で実施	公共(STEM ELSI)の授業展開